

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成 18 年度船だまり整備工事報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 91 集							
編著者名	田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町 1-1-16							
発行年月日	2008 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	工事期間	工事面積	工事原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	愛媛県今治市宮 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	20061027 ～ 20070731	970 m ²	史跡整備
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	海蝕テラス、盛土整 地面、岩礁ピット	土師質土器、国産陶磁 器、輸入陶磁器、石製 品、金属製品等				
要約	<p>史跡能島城跡保存修理事業に伴い能島において最も斜面崩落が著しい船だまり地区の保存整備工事を実施した。整備方針・方法については、平成 17 年度に行った試掘調査に基づいている。海岸部の崩落箇所については擁壁工、消波石積工による整備を行った。もともと崩落が著しい崩落箇所 B については、石積工と補強盛土工を併用し、復旧を行っている。表面の植生は塩害に比較的強いノシバを採用した。消波石積は周囲と調和するよう乱積とし、石積擁壁を被覆している。法面の急勾配部分には浅い土木用樹脂ネットを格子状に土中に垂直に埋め、表面には植生マットを敷設することで、斜面崩落、表面流出を防止した。法尻のオーバーハング地形部分には、景観に配慮し植生土のう積工による保護を行った。また、整備工事に伴い表土より多数の遺物が出土した。</p>							